お客様メモ：サービスを依頼されるとき、お役にたちます。

購入店名：＿＿＿＿＿＿＿＿ 電話＿＿＿＿＿＿

ご購入年月日　：平成　　年　　月　　日

ーメモー

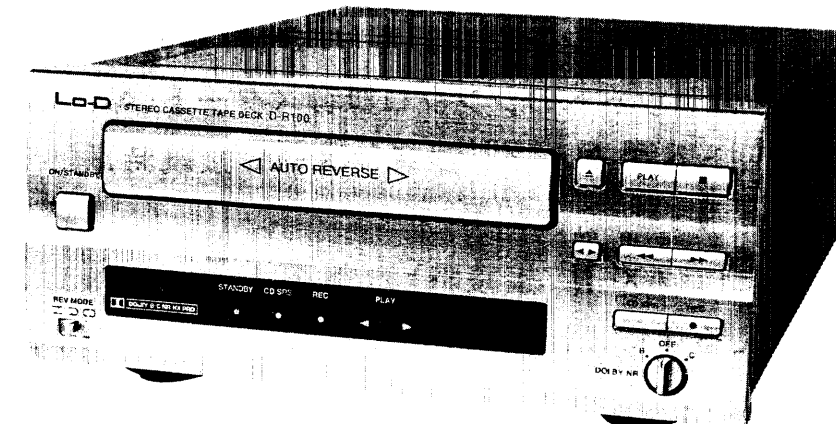
株式会社 日立製作所
〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
TEL (03)3502-2111

QR41345

取扱説明書

日立ステレオカセットデッキ

D-R100

このたびは、日立ステレオカセットデッキをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は保証書、ご相談窓口一覧表と共にいつでも見られる所に大切に保管してください。

DOLBY B・C NR HX PRO

テープ再生

テープ録音

その他

目次

安全上のご注意(必ずお読みください)

本機を正しく安全にご使用いただくために

<ご使用の前に>

絵表示について　この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

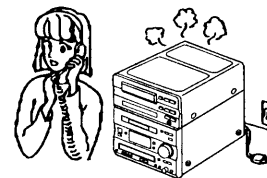
△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)が描かれています。

⚠警告

■万一異常が発生したら

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

● 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜け

⚠警告

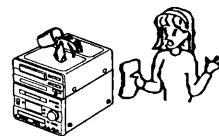
■表示以外の電圧で使用しないでください

● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

■液体の入った容器などを置かないでください

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

水ぬれ禁止

■風呂場などでは使用しないでください

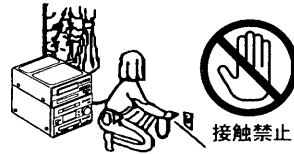
● 風呂場やシャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

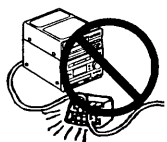
● 本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

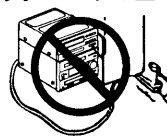
水ぬれ禁止

■雷が鳴り出したら

● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

■電源コードを大切に

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

● 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● 電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■異物を入れないでください

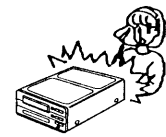
● 本機の通風孔、カセットテープの挿入口から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜け

⚠警告

■ふたをはずしたり、改造しないでください

● 本機の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対に外さないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

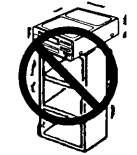
● 本機を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

分解禁止

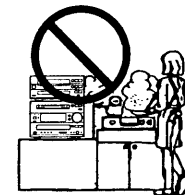
● 本機のACアウトレットが供給できる電力は最大90Wまでです。接続する機器の消費電力の合計が90Wを越えないようにしてください。火災の原因となります。本機のACアウトレットはオーディオ機器専用です、テレビやビデオデッキなどの他の電気器具を接続しないでください。

⚠注意

■ご使用になる場所について

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

● 調理場や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■電源コードを粗雑に扱わないでください

● 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

● 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

● 電源プラグは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気店にコンセントの交換を依頼してください。

安全上のご注意(つづき)

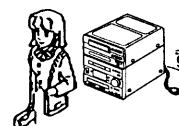
⚠ 注意

■持ち運ぶときのご注意

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜け

■長期間ご使用にならないとき

● 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜け

■接続について

● オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

■特に小さなお子様のいるご家庭では

● 本機に乗ったりしないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

● お子様がカセットテープ挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

指を挟まれないよう注意

■日頃のお手入れについて

● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
感電の原因となることがあります。

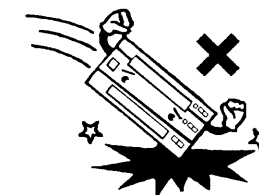
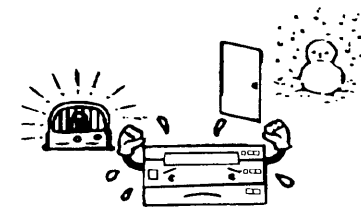
プラグをコンセントから抜け

● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用などについては販売店などにご相談ください。

一般的なご注意

使用上のご注意

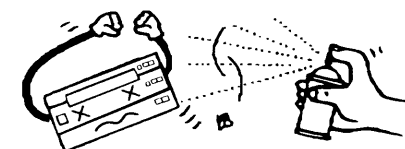
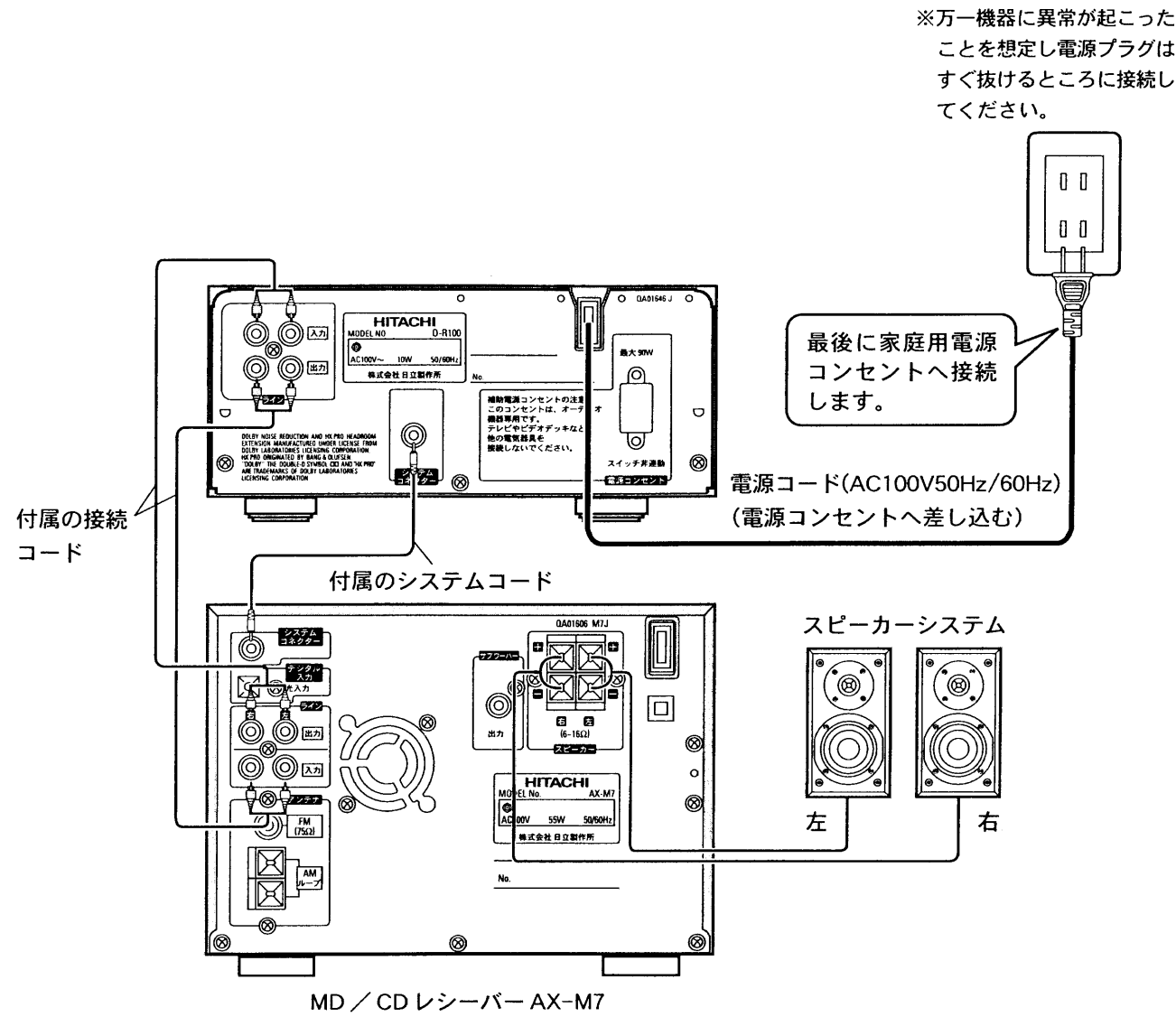
移動したり持ち運ぶときは
本機を移動したり持ち運ぶときはトレイ開閉ボタンを押して、カセットトレイを引き出しカセットテープを取り出した後カセットトレイを閉めてください。

衝撃を与えないでください
落としたり、物にあてたりして、強い衝撃を与えないでください。故障したり、性能が十分発揮できないことがあります。

温度差のある所への移動は禁物
寒い所から急に暖かい所への移動は避けてください。故障の原因となります。

お手入れについて

ケースやパネルに殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどをつけたりしますと、塗装がはがれたり変色することがあります。表面の汚れは柔らかい布でふいてください。

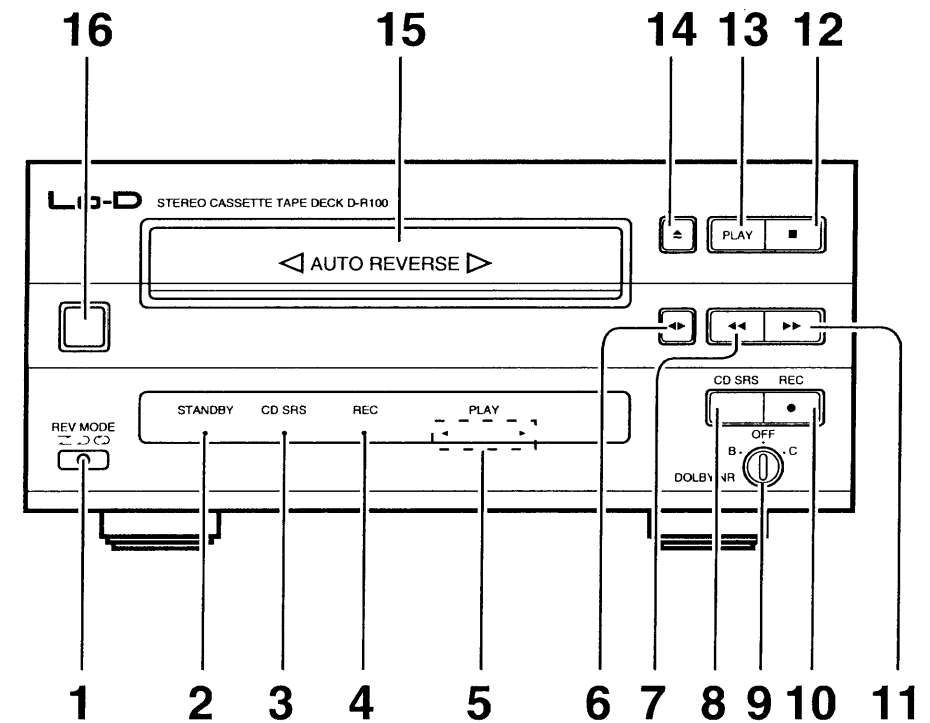
接続のしかた(AX-M7と使用する場合)

※万一機器に異常が起こったことを想定し電源プラグはすぐ抜けるところに接続してください。

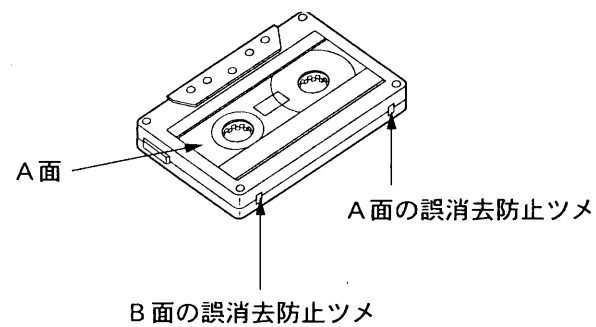
MD／CD レシーバー AX-M7

ご注意

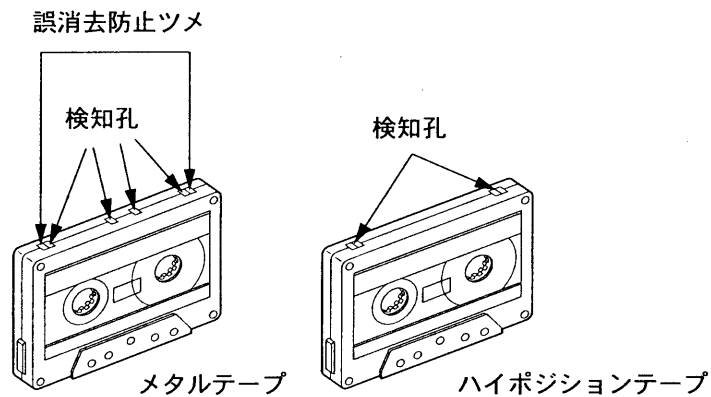
- 本機をテレビやその他のオーディオ機器の近くに設置すると、雑音が生じることがあります。その場合は、機器や接続コードの位置を変えてみてください。
- 接続コード（ピンプラグコード）を電源コードのそばに置くと、ハム雑音などのノイズが発生することがあります。
- 電源オン状態で前面パネルの電源ボタンを押すと、本機はスタンバイ状態に切り替わりますが、電源の供給は遮断されません。長時間ご使用にならないときは、本機をスタンバイ状態にした後、電源プラグをコンセントから抜くことをおすすめします。

各部の名称

1 REV MODE (走行モード切り替え)スイッチ
2 STANDBY(スタンバイ)インジケーター
3 CD SRS(CDシンクロ録音)インジケーター
4 REC(録音)インジケーター
5 PLAY(再生)インジケーター
6 走行方向(◀▶)ボタン
7 巻き戻し／逆方向サーチ(◀◀)ボタン
8 CD SRS(CDシンクロ録音)ボタン
9 DOLBY NR(ドルビーノイズリダクション)つまみ
10 REC(録音)(●)ボタン
11 早送り／順方向サーチ(▶▶)ボタン
12 停止(■)ボタン
13 PLAY(再生)ボタン
14 トレイ開閉(⏏)ボタン
15 カセットトレイ
16 ON/STANDBY(電源オン／スタンバイ)ボタン

カセットテープとヘッドクリーニングについて

■カセットテープについて

● 録音したものを誤って消してしまうのを防ぐには、カセットのツメを折ります。

■テープ自動選択機構について

● テープの種類(ノーマル、ハイポジション、メタル)は自動的に検出され、最適な録音バイアスとイコライザー値が自動的に選択されます。

■ヘッドのクリーニング

● 良い音質を保つため、市販のクリーニングカセットテープを使って、定期的にヘッドクリーニングを行ってください。

■ヘッドの消磁

● カセットデッキを長期間使用すると、ヘッドがわずかに磁気を帯びてきます。市販のカセットタイプのヘッド消磁器を使用して、磁気を取り除いてください。

■長時間テープ

● 100分以上の長時間テープは大変薄く伸びやすいため、機械に巻き込んだりすることがありますので使用しないでください。

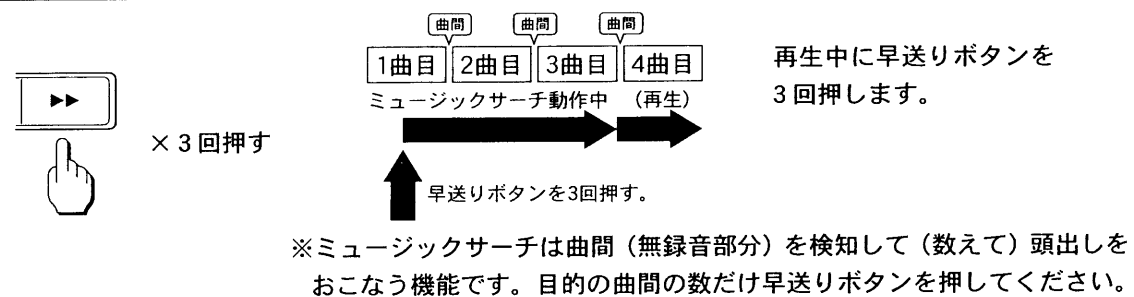
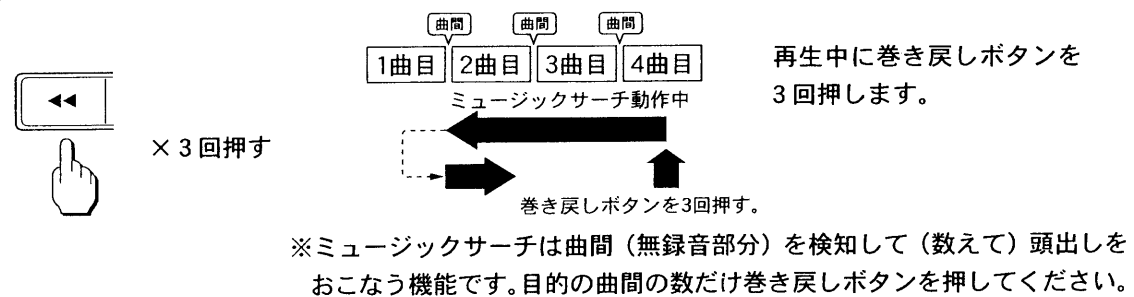
■エンドレステープ

● 本機でエンドレステープは使用できません。

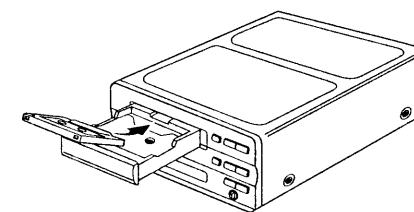
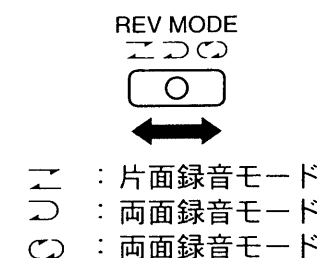
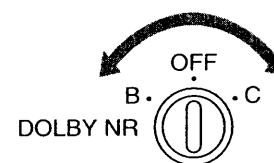
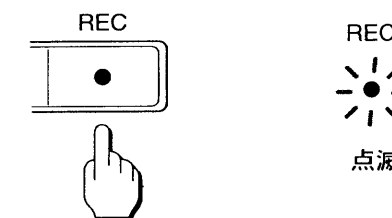
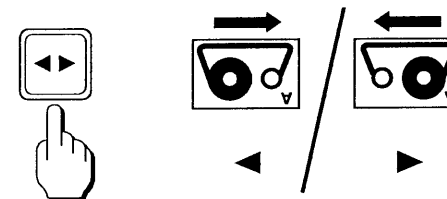
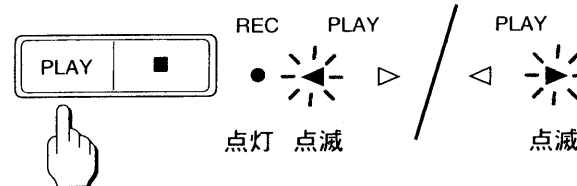
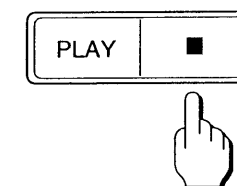
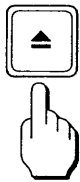
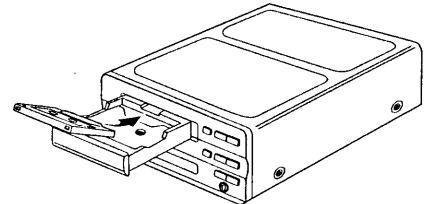
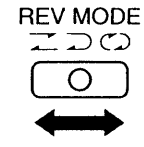
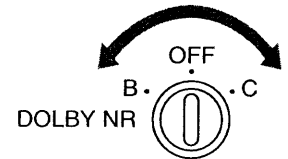
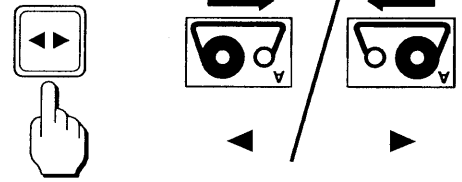
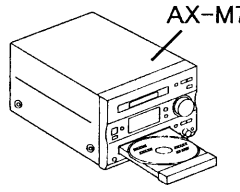
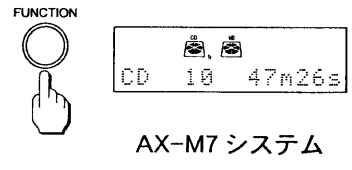
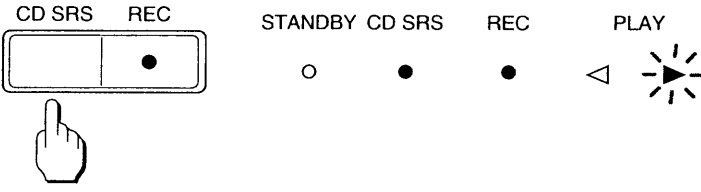
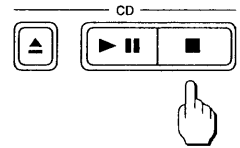
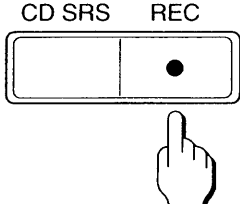
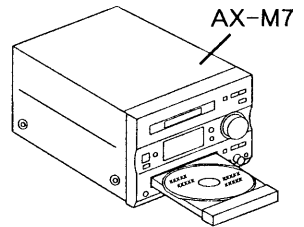
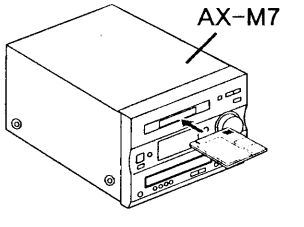
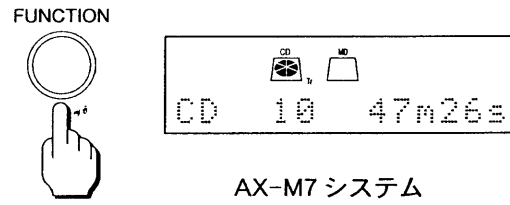
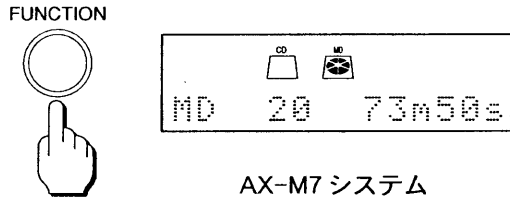
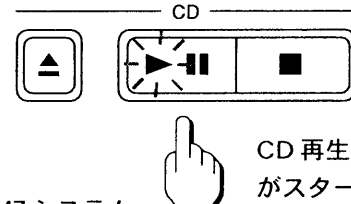
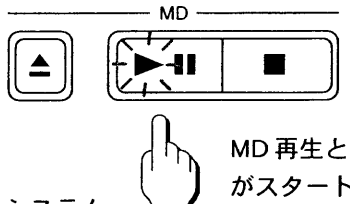
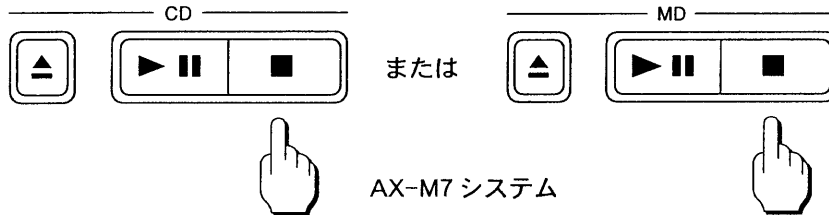
カセットテープの再生

早送りと巻き戻し

ミュージックサーチ機能

再生中の曲の前後それぞれ16曲までの頭出しができます。

ご注意

●ミュージックサーチのときは、4秒以上の無録音部分を曲間として検知します。4秒以下の曲間は検知しません。

カセットテープの録音

テープ録音

CDからカセットへのSRSシンクロ録音(AX-M7接続時)

1 カセットトレイを引出す

2 カセットテープを入れる

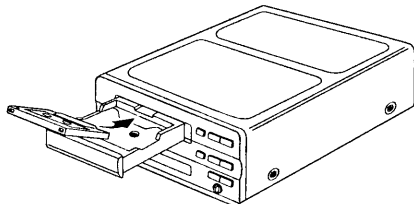
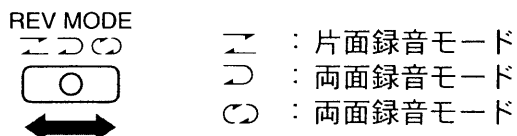
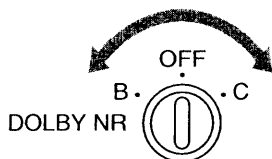
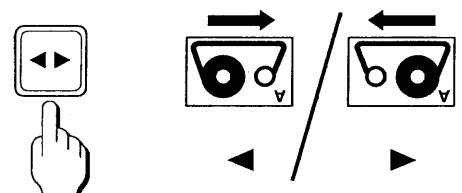
3 カセットトレイを閉じる

4 テープ走行モードを選ぶ

REV MODE

- ⊐ ：片面録音モード
- ⊃ ：両面録音モード
- ⊂⊃ ：両面録音モード

5 DOLBY NRモードを選ぶ

OFF / B / C
DOLBY NR

6 テープ走行方向を選ぶ

7 AX-M7にCDをセットする

AX-M7

8 AX-M7のファンクションをCDにする

FUNCTION
CD 10 47m26s
AX-M7 システム

9 SRSシンクロ録音をはじめる

最初に約7秒間テープを送ってから（リーダーテープをさけるため）CDの一曲目から順に録音します。
SRS録音中はCDとカセットの停止ボタン以外のキー入力は受付けなくなります。

CD SRS　REC
STANDBY　CD SRS　REC　PLAY

10 録音を止めるには

CD
約5秒間の無録音部を作ってから停止します。
AX-M7 システム

CDまたはMDからカセットへのシンクロ録音スタート(AX-M7接続時)

1～6 SRSシンクロ録音の時と同様です（14ページ参照）。

7 録音待機状態にする

CD SRS　REC

8a AX-M7にCDをセットする

AX-M7

8b AX-M7にMDをセットする

AX-M7

9a AX-M7のファンクションをCDにする

FUNCTION
CD 10 47m26s
AX-M7 システム

9b AX-M7のファンクションをMDにする

FUNCTION
MD 20 73m50s
AX-M7 システム

10a CDからの録音を始めるには

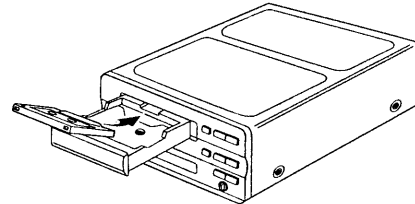
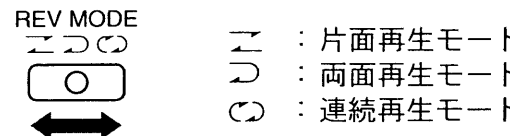
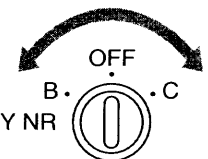
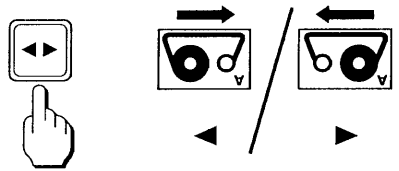
CD
CD再生とカセット録音がスタートします。
AX-M7 システム

10b MDからの録音を始めるには

MD
MD再生とカセット録音がスタートします。
AX-M7 システム

11 録音を止めるには

CD　または　MD
約5秒間の無録音部をつくってから停止します。
AX-M7 システム

テープ録音

ラジオからカセットへのタイマー録音（AX-M7 接続時）

1 カセットトレイを引出す

2 カセットテープを入れる

3 カセットトレイを閉じる

4 テープ走行モードを選ぶ

REV MODE

⊐ ：片面録音モード
⊃ ：両面録音モード
⊂⊃ ：両面録音モード

5 DOLBY NRモードを選ぶ

OFF
B・ ・C
DOLBY NR

6 テープ走行方向を選ぶ

◀ ▶

7 以降の操作はAX-M7の取扱説明書の「ラジオからMDへのタイマー録音」を参照してください。ただし手順5では「REC LINE」を選びます。

手順**5**

MULTI JOG

REC LINE

AX-M7 システム

音楽で目覚めるには（AX-M7 接続時）

1 カセットトレイを引出す

2 カセットテープを入れる

3 カセットトレイを閉じる

4 テープ走行モードを選ぶ

REV MODE

⊐ ：片面再生モード
⊃ ：両面再生モード
⊂⊃ ：連続再生モード

5 DOLBY NRつまみを合わせる

テープがドルビーBまたはCモードで録音されている場合、ドルビーNRつまみを同じモードに設定します。

OFF
B・ ・C
DOLBY NR

6 テープの走行方向を決める

◀ ▶

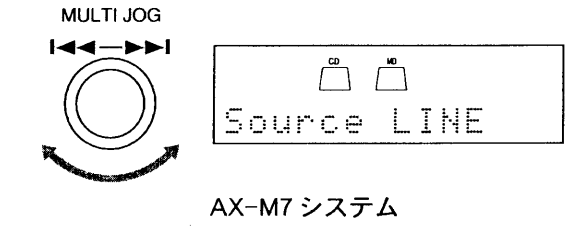
PLAYインジケーターの表示と実際のテープの走行方向の関係は上の図のようになります。

7 以降の操作はAX-M7の取扱説明書の「音楽で目覚めるには」を参照してください。ただし手順3では「Source LINE」を選びます。

手順**3**

MULTI JOG

Source LINE

AX-M7 システム

故障かな？と考える前に

正常に動作しない場合は、下表により点検してみてください。それでも具合が悪い場合は、ご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店にご連絡ください。なおアフターサービスについては20ページをご覧ください。

症　　状	原因と思われるところ	適切な処置
音が出ない	1. 電源コードのプラグがコンセントに確実に接続されていない。 2. 本機とアンプの接続が不完全。 3. ヘッドが汚れている。	1. 電源プラグをコンセントに確実に接続する。 2. 本機とアンプを確実に接続する。 3. 市販のヘッドクリーニングテープでヘッドを清掃する。
録音ができない	1. カセットテープのつめが折れている。 2. 本機とアンプの接続が不完全。 3. ヘッドが汚れている。	1. セロハンテープなどで穴をふさぐ。 2. 本機とアンプを確実に接続する。 3. 市販のヘッドクリーニングテープでヘッドを清掃する。
音がふるえたりとぎれたりする	1. テープがいたんでいる。	1. 新しいテープを使用する。
音質が悪い	1. ドルビーNRつまみが合っていない。 2. ヘッドが汚れている。	1. 録音した時と同じモードにドルビーNRつまみを合せる。 2. 市販のヘッドクリーニングテープでヘッドを清掃する。
消去できない	1. カセットテープのつめが折れている。 2. 消去ヘッドが汚れている。 3. 傷、伸び、ねじれなどを起こしている不良テープを使用している。	1. セロハンテープなどで穴をふさぐ。 2. 市販のヘッドクリーニングテープでヘッドを清掃する。 3. 新しいテープを使用する。
雑音が多い	1. ヘッドが汚れている。 2. ヘッドが磁化されている。 3. 電気毛布、照明用の調光器などを近くで使用している。	1. 市販のヘッドクリーニングテープでヘッドを清掃する。 2. 市販の消磁器(カセットテープ形のもの)でヘッドを消磁する。 3. 原因となる機器からはなす。

主な仕様

種類：...... 水平4トラック2チャンネルステレオオートリバースカセットデッキ
ヘッド：...... ハードパーマロイ録音／再生ヘッド、ダブルギャップフェライト消去ヘッド、各1
テープ速度：...... 4.75 cm/秒
内蔵回路：...... ドルビー B、ドルビー Cノイズリダクション
ドルビー HX PROヘッドルームエクステンション
使用可能テープ：...... ノーマル、ハイポジション、メタル
電源：...... 100V　50/60Hz
消費電力：...... 10W
最大外形寸法：...... 210(幅)×96.5(高さ)×316(奥行き)mm(脚、スイッチ類、端子を含む)
質量：...... 2.7kg

●本機の仕様および機能は、改良のために予告なく変更されることがあります。

■ ドルビーノイズリダクションおよびHX PROヘッドルームエクステンションは、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの実施権に基づき製造されています。HX PROはバングアンドオルフセンの考案です。
■ ドルビー、DOLBY、ダブルD記号 DD 及びHX PROは、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
■ ドルビー HX PROは、音楽をクリアに再生します。
ドルビー HX PROは高音域のオーバーバイアスを防ぎ、ダイナミックでエネルギッシュなデジタル音源の高音域を、極めてクリアに再現します。本機には、ドルビーB/Cノイズリダクションも内蔵されています。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

■保証について

- この製品は保証書付きです。
  保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
  なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

■補修用性能部品の保有期間について

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。

アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

① 型名：D-R100
② 症状：できるだけくわしく
③ 道順：付近の目印も

■転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

■アフターサービスなどでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か別紙(黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

著作権について

あなたがラジオ放送やレコード、録音物などから録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物(ミュージックテープなど)の作品も同じように著作権法により保護されています。従って音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれから録音したテープなどの使用には一定の制限があります。

- したがって、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部におたずねください。

社団法人 日本音楽著作権協会（JASRAC）〒105 東京都港区西新橋1-7-13 TEL (03) 3502-6551 (大代表) FAX (03) 3508-8183

●北海道支部（業務地域　北海道）
〒060　札幌市中央区北1条西3-2　大和銀行札幌ビル
TEL（011）221-5088（代表）FAX（011）221-1311

●盛岡支部（業務地域　岩手・青森・秋田）
〒020　盛岡市盛岡駅前通15-20　ニッセイ盛岡駅前ビル
TEL（019）652-3201（代表）FAX（019）652-4010

●仙台支部（業務地域　宮城・山形・福島）
〒980　仙台市青葉区中央2-1-7　仙台三和ビル
TEL（022）264-2266（代表）FAX（022）265-2706

●長野支部（業務地域　長野）
〒380　長野市南千歳2-12-1　日本団体生命長野ビル
TEL（026）225-7111（代表）FAX（026）223-4767

●大宮支部（業務地域　埼玉・栃木・群馬・新潟）
〒331　大宮市桜木町1-7-5　ソニックシティビル
TEL（048）643-5461（代表）FAX（048）643-3567

●上野支部（業務地域　東京都23区の城東地区・茨城）
〒110　東京都台東区上野2-7-13　交通公社・安田火災上野共同ビル
TEL（03）3832-1033（代表）FAX（03）3832-1040

●東京支部（業務地域　東京都23区の東部・千葉）
〒104　東京都中央区銀座1-15-6　共同ビル銀座1丁目
TEL（03）3562-4455（代表）FAX（03）3562-4457

●西東京支部（業務地域　東京都23区の西部）
〒160　東京都新宿区新宿5-17-5　新宿中央ビル
TEL（03）3232-8301（代表）FAX（03）3232-7798

●東京イベント・コンサート支部（業務地域　東京都・千葉・茨城・山梨）
※コンサートや、イベント等における演奏・上映等
〒160　東京都新宿区新宿5-17-5　新宿中央ビル
TEL（03）5286-1671（代表）FAX（03）5286-1670

●立川支部（業務地域　東京都の市・郡部・山梨）
〒190　立川市曙町2-22-20　立川センタービル
TEL（0425）29-1500（代表）FAX（0425）29-1515

●横浜支部（業務地域　神奈川）
〒231　横浜市中区本町1-3　綜通横浜ビル
TEL（045）662-6551（代表）FAX（045）662-6548

●静岡支部（業務地域　静岡）
〒420　静岡市御幸町11-30　エクセルワード静岡ビル
TEL（054）254-2621（代表）FAX（054）254-0285

●中部支部（業務地域　愛知・岐阜・三重）
〒450　名古屋市中村区名駅2-45-7　松岡ビル
TEL（052）583-7590（代表）FAX（052）583-7594

●北陸支部（業務地域　石川・富山・福井）
〒920　金沢市香林坊2-3-25　金沢日産生命ビル
TEL（0762）21-3602（代表）FAX（0762）21-6109

●京都支部（業務地域　京都・滋賀・奈良）
〒600　京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8京都　三井ビル
TEL（075）251-0134（代表）FAX（075）251-0414

●大阪支部（業務地域　大阪南部・和歌山）
〒542　大阪市中央区南船場4-3-11　豊田ビル
TEL（06）244-0351（代表）FAX（06）244-1970

●大阪北支部（業務地域　大阪北部）
〒542　大阪市中央区南船場4-3-11　豊田ビル
TEL（06）244-7077（代表）FAX（06）244-1970

●神戸支部（業務地域　兵庫）
〒650　神戸市中央区海岸通6番地　建隆ビルII
TEL（078）322-0561（代表）FAX（078）322-0975

●中国支部（業務地域　広島・岡山・山口・鳥取・島根）
〒730　広島市中区胡町4-21　朝日生命広島胡町ビル
TEL（082）249-6362（代表）FAX（082）246-4396

●四国支部（業務地域　香川・徳島・高知・愛媛）
〒760　高松市寿町2-2-10　住友生命高松寿町ビル
TEL（0878）21-9191（代表）FAX（0878）22-5083

●九州支部（業務地域　福岡・大分・佐賀・長崎・熊本）
〒812　福岡市博多区博多駅前2-1-1　福岡朝日ビル
TEL（092）441-2285（代表）FAX（092）441-4218

●鹿児島支部（業務地域　鹿児島・宮崎）
〒892　鹿児島市東千石町1-38　アイムビル
TEL（099）224-6211（代表）FAX（099）224-6106

●那覇支部（業務地域　沖縄）
〒900　那覇市久茂地1-3-1　久茂地セントラルビル
TEL（098）863-1228（代表）FAX（098）866-5074